

島根労働局発表

平成30年5月25日

島根労働局職業安定部職業対策課

担 職業対策課長 内田 和久

障害者雇用担当官 上代 薫

当 TEL 0852-20-7022

ハローワークを通じた島根県内の障害者の就職件数が過去最高を更新 — 平成29年度障害者の職業紹介状況等 —

島根労働局（局長 田村 和美（たむら かずみ））は、平成29年度の障害者の職業紹介状況をまとめましたので、公表します。

ハローワークを通じた島根県内の障害者の就職件数は、過去最高であった平成28年度の941件を上回る979件（対前年度比4.0%増）となり、平成17年度以降13年連続で過去最高を更新しました。

また、就職率（新規求職申込件数に対する就職件数の割合）は65.7%（同1.6ポイント減）と減少しましたが、全国平均の48.4%を大幅に上回り、都道府県別では全国4位となりました。

ポ イ ン ト

- 新規求職申込件数は1,491件で、対前年度比6.5%（91件）の増（前年度1,400件）。就職件数は979件で、対前年度比4.0%（38件）の増（前年度941件）。

	新規求職申込件数				就職件数			
	28年度	29年度	対前年度	前年度比	28年度	29年度	対前年度	前年度比
身体障害者	289件	315件	26件増	9.0%増	188件	181件	7件減	3.7%減
知的障害者	291件	299件	8件増	2.7%増	197件	216件	19件増	9.6%増
精神障害者	712件	731件	19件増	2.7%増	486件	490件	4件増	0.8%増
その他の障害者※	108件	146件	38件増	35.2%増	70件	92件	22件増	31.4%増
合 計	1,400件	1,491件	91件増	6.5%増	941件	979件	38件増	4.0%増

- 就職状況を産業別にみると、「医療、福祉」230件、「卸売業、小売業」175件、「製造業」149件が多くなっている。

- 就職状況を職業別にみると、「運搬・清掃・包装等の職業」263件、「サービスの職業」179件、「事務的職業」156件が多くなっている。

※ 「その他の障害者」とは、発達障害者、難治性疾患患者、高次脳機能障害者等である。

平成 29 年度障害者職業紹介状況

島根労働局

1 求職申込件数

求職申込件数は、前年度比 6.5%増の 1,491 件（前年度 1,400 件）となりました。

障害種別でみると、身体障害者は 9.0%増の 315 件（同 289 件）、知的障害者は 2.7%増の 299 件（同 291 件）、精神障害者は 2.7%増の 731 件（同 712 件）、発達障害者は 43.9%増の 59 件（同 41 件）、難治性疾患患者は 46.9%増の 72 件（同 49 件）、高次脳機能障害者は 66.7%減の 1 件（同 3 件）となっています。

【表1】 新規求職者の障害別状況

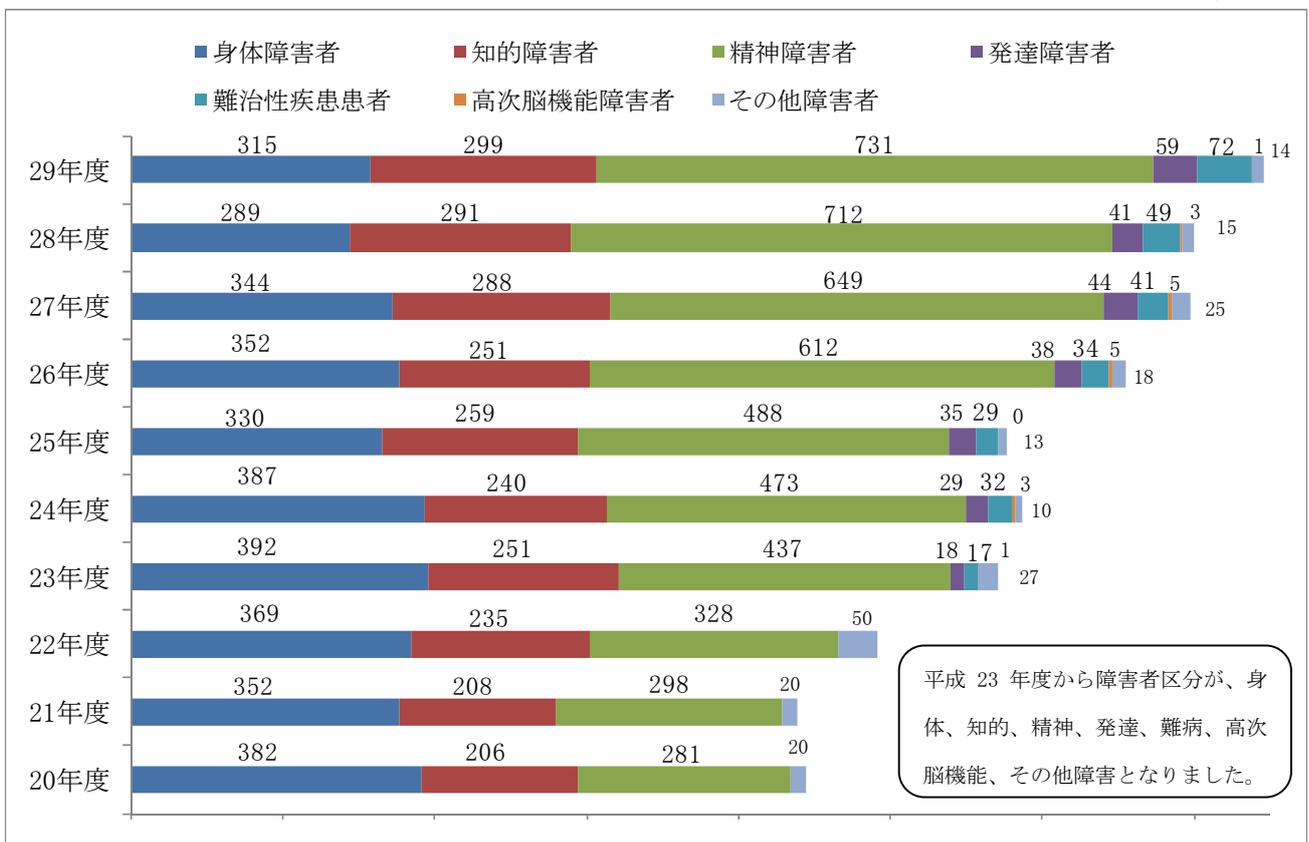
(単位:件:%)

	新規求職申込件数							
	身体障害者	知的障害者	精神障害者	発達障害者	難治性疾患患者	高次脳機能障害者	その他障害者※	
平成29年度	315	299	731	59	72	1	14	
平成28年度	289	291	712	41	49	3	15	
前年度比	6.5	9.0	2.7	2.7	43.9	46.9	▲ 66.7	▲ 6.7

※ 「その他障害者」とは、精神 3 疾患（統合失調症、そううつ病、てんかん）以外の精神疾患で精神障害者保健福祉手帳の交付を受けていない者又は身体障害者障害程度等級が 7 級の者等である。【表 2】 同様。

【グラフ1】 新規求職者の障害別状況

(単位:件)



2 就職件数

ハローワークを通じた障害者の就職件数は、前年度比 4.0%増の 979 件（前年度 941 件）となり、13 年連続の増加で過去最高を更新しました。

障害種別でみると、身体障害者は 181 件で前年度比 3.7%減（前年度 188 件）、知的障害者は 216 件で同 9.6%増（同 197 件）、精神障害者は 490 件で同 0.8%増（同 486 件）、発達障害者は 37 件で同 54.2%増（同 24 件）、難治性疾患患者は 47 件で同 42.4%増（同 33 件）となっています。

なかでも精神障害者は、精神保健福祉手帳を所持する精神障害者を実雇用率に算定できることとなった平成 18 年度以降、毎年増加しています。

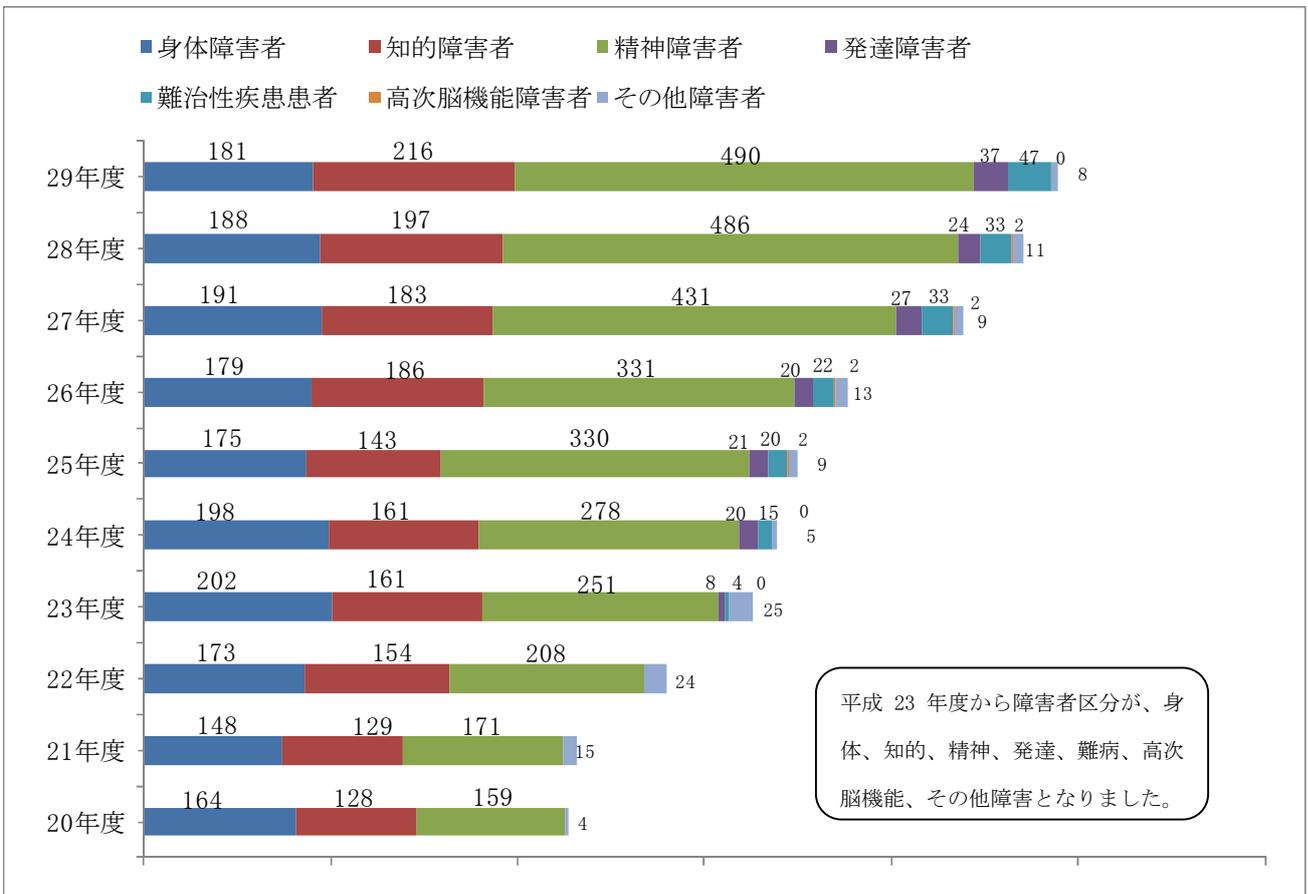
【表2】 就職件数の障害別状況

（単位：件：%）

	就職件数	障害別状況						
		身体障害者	知的障害者	精神障害者	発達障害者	難治性疾患患者	高次脳機能障害者	その他障害者※
平成29年度	979	181	216	490	37	47	0	8
平成28年度	941	188	197	486	24	33	2	11
前年度比	4.0	▲ 3.7	9.6	0.8	54.2	42.4	-	▲ 27.3

【グラフ2】 就職件数の障害別状況

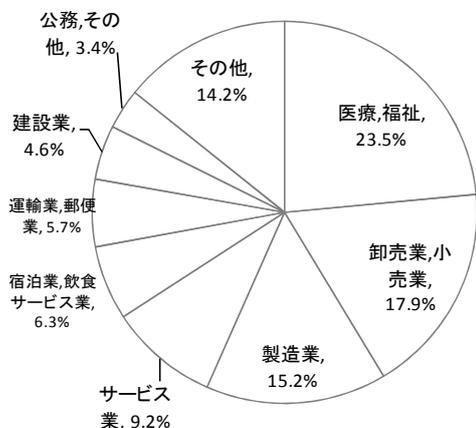
（単位：件）



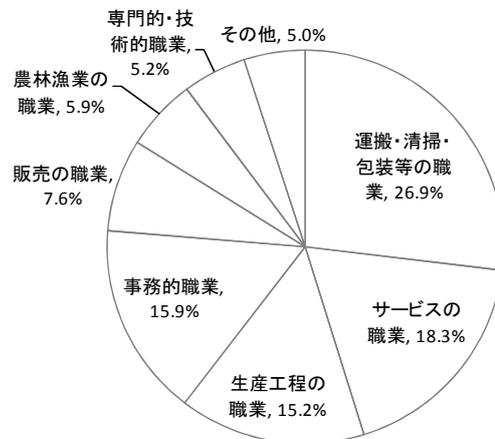
就職件数を産業別にみると、「医療、福祉」が最も多く 230 件（全体の 23.5%）、次いで「卸売業、小売業」175 件（17.9%）、「製造業」149 件（15.2%）の順となっています。

職業別では、「運搬・清掃・包装等」の職業が最も多く 263 件（全体の 26.9%）、次いで「サービスの職業」179 件（18.3%）「事務的職業」156 件（15.9%）の順となっています。

【グラフ3】産業別就職状況



【グラフ4】職業別就職状況



3 解雇者数

平成 29 年度の解雇者数は 7 人となっており、前年より 4 人減少しました。解雇理由は事業廃止・縮小によるもの（5 人）などとなっています。

【表3】解雇者の状況

(単位:所:%)

	①解雇届提出があった事業所数	②解雇者数		③解雇理由			④障害種別		
		うち派遣		事業廃止	事業縮小	その他	身体	知的	精神
平成29年度	7	7	0	2	3	2	2	2	3
平成28年度	9	11	0	5	6	0	5	4	2
前年度比	△ 22.2	△ 36.4	-	△ 60.0	△ 50.0	-	△ 60.0	△ 50.0	50.0

【グラフ5】障害者解雇者数の推移

(単位:人)

